



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 東都水産株式会社

上場取引所 東

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江原 恒

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田中 浩

TEL 03-6633-1005

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	55,621	0.9	388	28.4	589	0.5	433	2.9
30年3月期第2四半期	56,141	1.0	541	2.7	592	0.5	421	9.4

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 93百万円 (79.8%) 30年3月期第2四半期 465百万円 (446.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	109.31	
30年3月期第2四半期	105.86	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	30,082	15,174	50.4	3,893.50
30年3月期	28,696	15,512	54.1	3,900.06

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 15,174百万円 30年3月期 15,512百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				65.00	65.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	1.9	800	43.1	1,100	25.8	800	18.3	201.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	4,026,000 株	30年3月期	4,026,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	128,651 株	30年3月期	48,599 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	3,961,741 株	30年3月期2Q	3,977,558 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	9
平成31年3月期第2四半期の個別業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用及び所得環境の回復を背景に、個人消費は持ち直しており、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。また海外経済においては、先進国・新興国ともに内需の牽引力が高まり堅調に推移いたしました。米中間の貿易摩擦や欧州経済の不確実性等依然として先行きに不透明な状況にあります。

水産物卸売市場業界におきましては、魚価は回復傾向にあるものの、消費者の食料品への低価格・節約志向は根強く、安全・安心な商品に対するニーズは依然として高く、また、海外での需要増加により仕入価格が高止まりし、水産物及び漁獲量の減少や市場外流通との競合とも相俟って、取扱数量が減少する厳しい事業環境で推移しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期連結累計期間と比べ0.9%減少の55,621百万円となりました。営業利益は人件費の減少及び貸倒引当金の戻入等経費の削減に努めましたが、冷蔵倉庫及びその関連事業の減価償却費の増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べ28.4%減少の388百万円となりました。経常利益は、受取配当金及び為替差益の増加等がありましたが、前年同四半期連結累計期間と比べ0.5%減少の589百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期連結累計期間と比べ2.9%増加の433百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

## ①水産物卸売事業

売上高につきましては、取扱数量の増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べて1.4%増加の52,295百万円となりました。営業利益は人件費の減少及び貸倒引当金の戻入等により、前年同四半期連結累計期間と比べて158.2%増加の241百万円となりました。

## ②冷蔵倉庫及びその関連事業

売上高につきましては、AERO TRADING社の売上高の減少額及び東水フーズ(株)が平成30年3月31日をもって解散したこと等により、前年同四半期連結累計期間と比べて28.7%減少の3,013百万円となりました。営業利益は人件費及び販売諸経等が減少しましたが、(株)埼玉県魚市場の物流センターに伴う減価償却費の増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べて92.2%減少の24百万円となりました。

## ③不動産賃貸事業

売上高につきましては、賃貸物件の一部譲渡等により、前年同四半期連結累計期間と比べて2.5%減少の312百万円となりました。営業利益は売上総利益率の向上等により、前年同四半期連結累計期間と比べて1.7%増加の123百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,385百万円増加し、30,082百万円となりました。流動資産は1,438百万円増加し、17,925百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が888百万円、現金及び預金が593百万円増加したことによるものです。固定資産は52百万円減少し、12,157百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれております投資有価証券が91百万円増加したものの、有形固定資産のその他に含まれております建設仮勘定が144百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,723百万円増加し、14,908百万円となりました。流動負債は402百万円減少し、7,722百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が749百万円増加したものの、その他に含まれております未払金が806百万円、短期借入金が410百万円減少したことによるものです。固定負債は2,126百万円増加し、7,186百万円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ337百万円減少し、15,174百万円となりました。主な要因は、前連結会計年度末より円高方向に進んだため為替換算調整勘定が405百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.1%から50.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月8日に発表しました平成31年3月期の通期連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成30年5月8日に発表しました平成31年3月期の通期連結業績予想との差異は以下の通りです。

( 連 結 )	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	115,000	700	800	600	150.85
今回修正予想 (B)	115,000	800	1,100	800	201.93
増減額 (B - A)	0	100	300	200	
増減率 (%)	0.0	14.3	37.5	33.3	
前期実績 (平成30年3月期)	117,195	1,407	1,483	979	246.32

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,321	6,915
受取手形及び売掛金	6,781	7,669
商品及び製品	3,004	3,500
仕掛品	5	8
原材料及び貯蔵品	205	121
その他	959	417
貸倒引当金	△792	△708
流動資産合計	16,486	17,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,419	3,449
土地	3,206	3,196
その他(純額)	1,393	1,261
有形固定資産合計	8,019	7,907
無形固定資産		
投資その他の資産	1,582	1,515
投資その他の資産		
その他	2,825	2,938
貸倒引当金	△216	△204
投資その他の資産合計	2,608	2,734
固定資産合計	12,210	12,157
資産合計	28,696	30,082
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,798	3,548
短期借入金	3,504	3,093
未払法人税等	28	52
賞与引当金	78	79
その他	1,714	948
流動負債合計	8,124	7,722
固定負債		
長期借入金	2,041	4,111
退職給付に係る負債	1,367	1,340
株式給付引当金	22	20
資産除去債務	45	45
その他	1,583	1,668
固定負債合計	5,059	7,186
負債合計	13,184	14,908

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,048	1,048
利益剰余金	11,391	11,563
自己株式	△97	△267
株主資本合計	14,719	14,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	605	652
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△157	△562
退職給付に係る調整累計額	△15	3
その他の包括利益累計額合計	792	453
純資産合計	15,512	15,174
負債純資産合計	28,696	30,082

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	56,141	55,621
売上原価	52,938	52,818
売上総利益	3,202	2,802
販売費及び一般管理費	2,660	2,414
営業利益	541	388
営業外収益		
受取利息	15	20
受取配当金	41	102
為替差益	—	53
その他	32	68
営業外収益合計	89	245
営業外費用		
支払利息	12	16
割増退職金	—	18
為替差損	20	—
その他	5	9
営業外費用合計	38	44
経常利益	592	589
税金等調整前四半期純利益	592	589
法人税、住民税及び事業税	132	119
法人税等調整額	38	36
法人税等合計	171	155
四半期純利益	421	433
親会社株主に帰属する四半期純利益	421	433

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	421	433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	47
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△9	△405
退職給付に係る調整額	29	18
その他の包括利益合計	43	△339
四半期包括利益	465	93
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	465	93
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	水産物卸売事業	冷蔵倉庫及びその関連事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,591	4,228	320	56,141	—	56,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	268	943	56	1,268	(1,268)	—
計	51,860	5,172	377	57,409	(1,268)	56,141
セグメント利益	93	312	121	527	14	541

(注)1. セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	水産物卸売事業	冷蔵倉庫及びその関連事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,295	3,013	312	55,621	—	55,621
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	588	35	718	(718)	—
計	52,389	3,601	348	56,339	(718)	55,621
セグメント利益	241	24	123	389	(1)	388

(注)1. セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. その他

平成31年3月期第2四半期の個別業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）  
個別経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	42,735	2.7	314	125.0	525	45.5	460	45.8
30年3月期第2四半期	41,625	△0.8	139	46.8	361	△50.2	315	△54.8